



未来への橋渡しの年に

— 連携 サポート きっかけづくり —

第9回
「百年塾フェスタ'2000」
10/28(土)
シビックセンター
新都市広場
マープルホール

百年塾の12年度総会が開催され、「みらい委員会」が2年かけてまとめた提言を、13年度から実施するため、今年は移行期間とすることになりました。連携をテーマにきっかけづくりやサポート事業を進めます。

総会で榎村本部長は「百年塾運動を地域に根づかせなくてはならない。みらい委員会の提言をどう生かして展開していくか、息の長い運動なので、今後の活動が重要である」と、あいさつ。

今年も「出あいを創るまち」をテーマに活動していきます。

団体との連携テーマ

事業部会

市民対象の事業や講座を開催し、百年塾PRや各種団体との連携につとめます。

- 生涯学習講演会
- 地域での市民向け講座
- 各種団体との共催事業の模索

ともに学び教え合う

市民教授部会

市民教授と市民が学び教えあう自主活動を進め、支援をします。

- 市民教授の登録促進
- 教育プラザの展示コーナー、市内の施設などでの市民教授の作品展
- 市民教授ネットワーク助成と育成
- 市民教授講座の支援

楽しい学校づくり支援

学校教育部会

ゲストティーチャー制度や地域との連携で、開かれた楽しい学校づくりの支援をします。

- 百年塾推進園・校などの支援
- ゲストティーチャー活用促進
- 園・校代表とゲストティーチャーの合同研修会
- 推進園・校の活動紹介「いま学校がおもしろい2000」ビデオ作成

企業訪問や社内報でPR

企業部会

百年塾PRにつとめ、企業人の参画を進める活動と、企業の理解促進を図ります。

- 企業訪問や企業広報紙への掲載によるPR
- 働く人たちの社会参加を考えるつどいの開催(11月)
- 企業製品、地場産業の紹介やPR

豊かなセカンドライフ

熟年研究会

セカンドライフを豊かに生きた

めの活動をします。

- 定年者のための地域入門講座
- シニアライフ講演会
- シニアライフ相談コーナー開設

仕事以外のいきかい探し

働く女性のワーキングチーム

仕事以外の生きがいを見つけるための学習や交流会を開催します。

- 働く女性のための講演会
- ともに活動する仲間づくり

市民の学習をサポート

広報部会

情報提供で市民の学習をサポートしながら、各種団体の広報を担当する人を応援します。

- 機関紙「ひろば」5回、全世帯配布
- 「広報セミナー」開催(5/20、6/17、9/2、1/20)
- 広報相談日開設と出前相談の実施
- 百年塾ホームページを充実

2049年の式典

本部長 榎村 千秋

日立駅の広場には、市制110周年祝賀のアーチが掲げられており、人々の賑いも普段より多く華やいている。平和通りの染井吉野もホルモン剤の開発により枯れることなく、すでに樹齢100年を越えようとする堂々たる巨木となり、相変わらず春には妖艶な美しさを楽しませてくれる。

日立駅舎は初日の出が拝める橋上駅となり、ホーム全体がデッキ化され、デッキ上には約1000台の駐車場が整備され、鉄道と自動車との相互利用がうまく行われている。

自動車はすべて水素エネルギーによる電気自動車であり、騒音もなく、無公害車であることはもちろんである。そして、駅舎に併設されている15階建ての駅複合ビルは、シビックセンター周辺の古い街区とともに日立市のシンボリックな建物として、日立市民はもとより周辺市町村からも多勢の人々が集まり、東京や上海などと同時性を持つ文化が得られ、賑やかで落ち着いた雰囲気を持つ街区となっている。

日立駅北側にあったセメント工場は、すでに低層化され、緑化率も30%を超えるなどかつてのセメント工場のイメージを一新している。また市内のゴミの焼却灰や下水道汚泥を100%セメント原料とするなど、セメント工場はエコ企業となっている。

また日立港は、常陸那珂港が建設されたことにより衰退するのではないかと心配が根拠であり、互いにすみわけができ、年間取扱高も15,000万tにも達し、北海道や九州等の国内航路とともに、ロシアのサハリヤや中国上海、シンガポール航路も開かれ、機械・電気製品の取り扱いについては、特異な港湾となっている。

そして、日立市の中心産業であつた電気産業は、相変わらず日立市の経済の中心であり続けているが、宇宙開発製品を作る企業群となり、日立なくして世界の宇宙開発は成り立たないほどの隆盛下にある。

また、日立鉱山の後継産業は、やはり金属産業として宇宙産業にはなくてはならない素材産業として活性化している。

この様なことから、県北臨海4市町は穏やかな地域融合体となって久しいが、日立市の人口は一時期減少に転じたものの、今は20万に戻っている。

人々は世界との交流の中で、高度な産業に働く場が確保され、完全週40時間と年間40日の長期休暇が一般化し、経済的ゆとりと精神的ゆとりが享受できる街となっている。

そのゆとりがボランティア活動を一層活発化させ、日常の生活習慣となっている。

また音楽や絵画そして茶道などの文化芸術の面でも、一人ひとり何かの芸事が極自然に身に付いている。(百年塾の成果との声がある。)

そしてスポーツも盛んである。しかし日本では総合型クラブスポーツは未だ育たず、やはりプロから幼児までの競技別のスポーツが盛んであり、気軽に利用できる各種の競技施設の整備も十分に備っている。

2049年、日立市は20世紀型の産業から21世紀型の産業にソフトランディングし、新たな発展の軌道にのり、街は元気を取り戻した。

その様な雰囲気の中で、市制110周年記念式典が、大勢の市民が参加して、市民の自由討論の機能を持つ新しい市議会議場で今日、午前10時から挙行される。

百年塾が百周年の記念日を迎えるのには、また40年を待つこととなる。

編集にすぐ役立ちそう!

20日(土)視聴覚センターで、今年度最初の広報セミナーが開催され、市内小中学校やコミュニティの広報担当者約120名が参加しました。講師は百年塾の市民教授の古川稔さんと豊田正夫さん。古川さんは広報紙づくりの目的と企画編集の基本、豊田さんは写真の撮り方を話しまし



た。参加したのはほとんどが今年初めて広報委員になった人たちで、熱心にふたりの話に聞き入っていました。参加者からは「文章は簡潔に書くことや見出しの付け方・大きさなどの話はすぐに実践に役立ちそう」「写真の撮り方はもっと具体的な話を聞きたかった」などの感想が寄せられました。

百年塾広報部会では、いつでも相談に応じます。こちらから出向くことも可能です。気軽にご相談ください。百年塾サロンへ。

百年塾広報セミナー

編集の基本と写真の撮り方



ここが広報づくりの秘訣! 講師も参加者も熱が入ります

定年退職者のための地域入門講座

- 時間 10:00~15:00
- 参加料 3,000円(実習費別)
- 対象 定年前後の方
- ところ 教育プラザ他
- 定員 先着25名(締切 6/30)
- 申込先 百年塾サロン ☎23-9165

開催日	テーマ	講師
7月8日(土)	これからの生き方を考えよう	大川原友吉
8月12日(土)	面白い郷土の歴史	永沼義信さん
9月9日(土)	定年後の夫婦は?	江尻芳枝さん
10月7日(土)	介護入門	石橋敏子さん
11月11日(土)	身近な環境問題	市役所職員
12月9日(土)	楽しい地域活動	嶋野末吉
1月13日(土)	生活習慣病について	交渉中
2月10日(土)	楽しいお料理	熟年研究会委員

定年退職者の活動体験に基づいた講座で、午後楽しい交流タイムがある

「開かれた学校づくり」めざし新たな方向を探る

学校教育委員会が平成11年度、日立市内の幼稚園・小学校・中学校・養護学校の全職員を対象に行った「開かれた学校」に関する調査がこのほどまとまりました。こうした調査は平成4年に実施され、「開かれた学校」の実現を目指す学校教育委員会が活動をすすめる上での貴重なデータとなりました。同部会では2回の調査結果を照らし合わせながら、活動の新たな方向づけをしていきます。

高まった百年塾への認識

「百年塾」を知っている先生は、幼稚園100%、小学校97%、中学校が98%です。90%を割った前回に比べてかなり知られるようになったようです。内容的には「市民教授」や「ゲストティーチャー」などがよく知られており、各園・校が地域の人材活用などを通じて百年塾の認識を高めてきたことが窺えます。

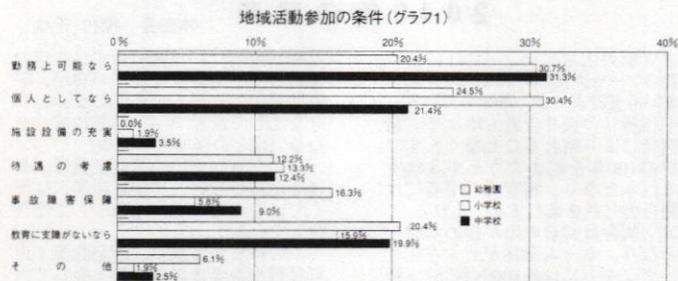
地域への個人のかかわりが減少

先生たちの地域活動へのかかわりは、少年団の指導・子ども会の指導・コミュニティ活動ともほぼ同じくら

いの割合で参加していますが、いずれも前回の半数に減っています。また先生方の市民教授への登録もごく僅か。しかし意識面の設問では地域活動への参加は条件付き(グラフ1)も含めて、幼稚園96.9%、小学校96.5%、中学校95.9%の先生が賛成しています。従って部会では、先生たちが勤務への支障などをはじめとした多くの問題を抱え、地域活動に参加しにくい状況にあるのではと分析。気軽に地域活動に参加できるような条件整備を今後の課題としています。

学校施設解放は未解決の問題も

園・校の施設を開放することにつ



昔のあそびも教えたい

宮田小の児童クラブ

平成9年度から放課後の留守家庭の児童を対象に、学校の余裕教室を使った児童クラブ(学童保育)の事業が進められています。今年度開設予定が4校ありますが、宮田小学校では、この夏休みから始めることになりました。地域の子育て支援として、宮田学区の人たちも好意を持って計画を受け入れています。子どもたちの相手をするボランティアも現在募集中です。

学区のまちづくりの関係者からは、「昔の遊びを教えるなど、子どもたちの多くのふれあいを考えてみたい」との意見も聞かれます。国府田校長も「遊び場もなく、家でテレビゲーム位しか出来ない子どもたちがふえています。学年の違う子どもと遊んだり、地域のいろいろな方々に



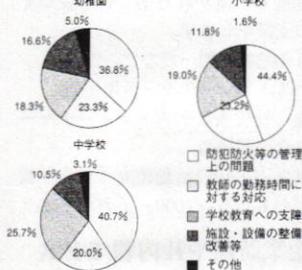
昨年開設の塙山小の児童クラブ

囲まれて健やかに育ってくれることを願います。この運動がきっかけになり、大人が子どもたちに目を向ける、それが子どもの成長に良い結果をもたらすと思います」と期待しています。

学校と親と地域が一体になり、計画を実のあるものになりたいものです。

いては、条件付きも合わせると95%以上が賛成しています。しかし前回の調査同様、防犯防火など管理上の問題や勤務時間に対する対応への不安が依然として挙げられており(グラフ2)、これらの問題解決が必要となります。また、開放施設もグラウンドや体育館などスポーツ施設に集中しており、開放の実態は前回の調査とあまり変わっていないようです。

幼稚園・学校の施設解放に関する問題点(グラフ2)



ふやしたい学校外の施設活用

学校と地域の人材交流の必要性については、ほとんどの幼稚園、小・中学校が必要と考えています(表2)。学校以外の施設の活用についても幼稚園との交流は必要か(表2) ※()は前回

	必要	必要ない
幼稚園	94.3%	5.7%
小学校	98.2%(96.2%)	1.8%(3.8%)
中学校	96.7%(93.1%)	3.3%(6.9%)

NIE研究指定校を百年塾も応援

中小路小学校

昨年度、新聞を活用した教育(NIE)を進める研究校の指定を受け

た中小路小学校は、5月19日、先生とPTA役員が茨城新聞社日立支社



本職のノウハウを伝授

編集部長の根本さん(左)を講師に研修会を開催、新聞づくりの基本を学びました。

これからの授業にはパソコンでの新聞編集などが計画されており、百年塾の市民教授や広報部会も応援をする予定になっています。

広がる地域の人材活用

市内の小中学校ではそれぞれの方法で地域人材の活用が始まっています。

会瀬小学校では、地域の人たちの知識・技能・体験などを授業に生かし、自ら学び、考える力を育成するため、スクールボランティアを会瀬小独自の方法で、昨年の9月に続き今年度も募集をしました。

社会、音楽、語学、国際理解、国語、理科、家庭科などのさまざまな

分野に加え、余暇や趣味、PTA主催の親子学習や母親学級の講師など、多岐にわたっています。

スクールボランティア活用は、地域の多くの人たちとのふれあいを通して、児童が自分の生き方を考え、学校生活がより豊かで充実することが期待されています。また、児童への理解が深まり、学校・地域・家庭が連携して健全な児童育成の体制ができることとなります。

市民教授

あの人この人

2000.2月~2000.4月に登録された方(敬称略)

- 内田喜久子 田尻町(ヨガ)
- 掛札優 石名坂町(定年後の生き方)
- 島村奈緒美 金沢町(着ものの着装及びマナー)
- 古田士 勇 金沢町(高齢者学習を中心とした教育全般)
- 高橋 和幸 久慈町(野外活動オリエンテーリング)
- 薄井 雅恵 東多賀町(礼儀作法全般)
- 木村 好 川尻町(邦楽教育)

お問い合わせは百年塾サロンまでご連絡を! ☎23-9165

自主グループガイド 300円でおわけします



市内の公民館やコミセンで活動している自主グループの情報が掲載されています。ご利用ください。